

国境なき医師団 東海フレンズ主催
世界を伝える写真展

「ともに生きる」



入場無料

4月15日(土)13:00～18:00

4月16日(日)10:00～16:00

星が丘テラス East 3F
コミュニティールーム

市営地下鉄東山線星ヶ丘駅 6番出口より徒歩1分
名古屋市千種区星が丘元町16-50

主催：国境なき医師団 東海フレンズ

協力：特定非営利活動法人 国境なき医師団日本

問い合わせ：地域サポーターグループプロジェクト担当 localsupportergroup@tokyo.msf.org



世界を伝える写真展「ともに生きる」



© Alexis Huguet



© Musa Yahaya



© Eddy McCall

世界で起きている災害の被災者や戦争・紛争に巻き込まれた人びとの写真を展示します。写真は、紛争地や災害地の厳しい現実を見る側に突きつけます。しかし、一歩踏み込んで見てみると、日本に住む私たちと同じように日々の生活を一生懸命生きる人間であることを知ることができます。そのような“体験”を皆さんにさせていただくべく「ともに生きる」をテーマにしました。「現地の人びとの力強さ、お互いを助け合う心、明日への希望」を感じて下さい。

写真を選んだ国境なき医師団 東海フレンズのメンバーが常駐しています。2日間限定のプログラムで、貴重な写真が多数展示されています。ぜひお気軽に足を運んでいただき、メンバーに声をかけてみて下さい。

私たちは「国境なき医師団 東海フレンズ」です

国境なき医師団の海外派遣経験者や有志のボランティアで、東海地方に拠点を置くメンバーで構成されています。もっと日本の地域社会にも人道援助の活動と精神を知ってもらい、共感の輪を広げようとの想いで2022年4月に活動を開始しました。今回が初回のイベント開催となります。

国境なき医師団とは

国境なき医師団は、民間で非営利の医療人道援助団体です。紛争地や自然災害の被災地、貧困地域などで危機に瀕する人びとに、独立・中立・公平な立場で緊急医療援助を届けています。現在、世界約70の国と地域で、医師や看護師をはじめ4万6000人のスタッフが活動(2021年実績)。1971年にフランスで設立し、1992年には日本事務局が発足しました。



<https://www.msf.or.jp/about/innovation/project/10/>

